

情報デザイン論

Theory of Information Design

3学期 木曜日 1・2時限 講義室：7A204					
担当教員	金尚泰	研究室	510	オフィスワ	水曜日・15:00～18:00
科目の概要	<p>情報デザインの本質は伝達にあり、伝達の本質は、発信者と受信者の関係を形付けることに他ならない。発信者による伝達の目的とは、いかなる場合においても、受信者の物理的な行動を引き起こすためである。このような背景から本講義では、人とコンテンツとの相互作用も踏まえた、「デザインの知見から考える情報デザイン」をテーマとして取り上げる。学生に対し、世の中のコンテンツがどのような技術、テクニックを使っているのかといった表現上のポイントだけでなく、どのような内容、方法でメッセージを表現しているかなど、デザインから見たコンテンツへの根本的な知見を持たせることを目標とする。これらを参考に、情報の構成を考えることで、効果の期待できるコンテンツ制作を目指すことができる。</p>				
授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 01 オリエンテーション 02 静的・動的表現による情報デザイン 03 静的表現の事例考察：シンボルマーク，ロゴタイプ，文字 04 静的表現の事例考察：ポスター，雑誌 05 静的表現の事例考察：カタログ，パッケージ 06 動的表現の事例考察：映像，ゲームコンテンツ 07 動的表現の事例考察：ウェブコンテンツ 08 考察に基づくアイデア展開・試作（静的表現） 09 考察に基づくアイデア展開・試作（動的表現） 10 試作プレゼンテーション・まとめ 				
達成目標	<p>情報の視覚表現について、表現理論、表現技術などの観点から研究し、その理論に基づく制作を行う。これにより、芸術・デザインから見た情報コンテンツへの知見を持たせることを目標とする。</p>				
評価の方法	出席、課題制作による評価				
教科書または参考書	それは情報ではない リチャードSワーマン エムディエヌコーポレーション				
テレビ会議システムの利用	無				
その他					